

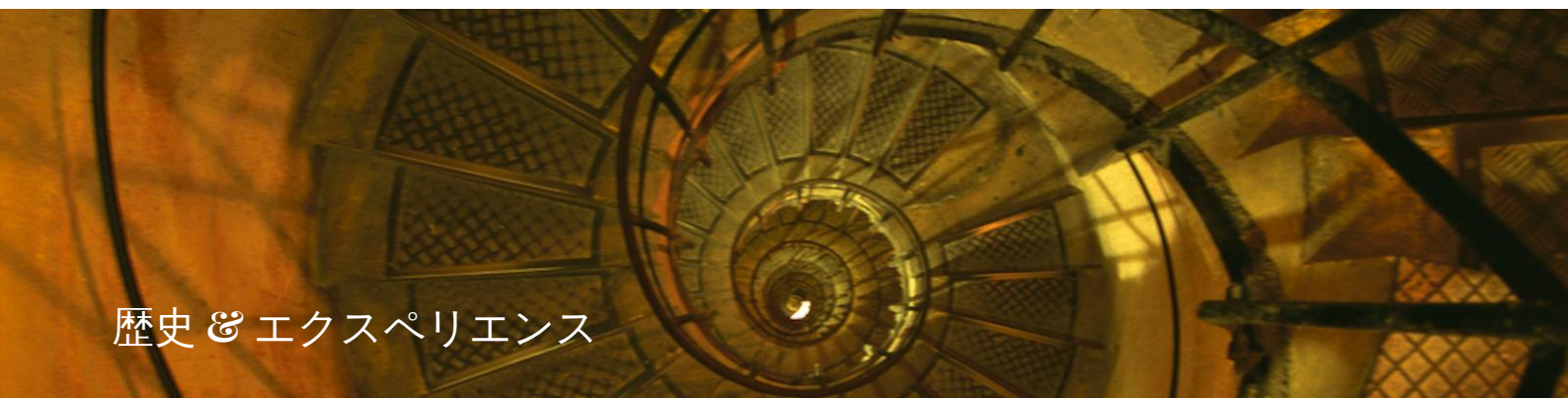


公式観光ガイド 2026

凱旋門

パリ・～から 18€

<https://arc-de-triomphe-paris.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスぺリエンス

起源と歴史

石に刻まれたフランスの記憶

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 294 324 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 7 870 レビュー

凱旋門は単なる石の記念碑ではなく、フランスの集合的記憶が刻まれた生きた歴史書です。ナポレオン1世が**1806**年に発注したこの壮大な建築は、オーステルリッツの戦いなどの勝利を称えるためのものでしたが、その完成にはなんと30年もの歳月を要しました。皇帝自身が生きている間に式典を行うことは叶わず、最終的にルイ・フィリップ王治世下の**1836**年に至ってようやく竣工を迎えました。この長い建設期間の間、フランスは帝政から復古王政へと政治体制を変えましたが、アーチは常に国の栄光と悲劇を象徴する存在として君臨し続けています。

当初、ナポレオンはルーヴルへの視界を確保するため、バステューの近くに建てることを計画していました。しかし、密集した地区での土地収用の莫大なコストにより、この案は断念せざるを得ませんでした。代わりに選ばれたのは、エトワール広場の現在のサイトです。ここでは、12本の通りが星のように放射状に広がっており、都市的な象徴性と空間的な開放性を兼ね備えていました。ジャン＝フランソワ・シャルグランによる設計は、ローマの凱旋門の影響を受けつつも、その巨大さと重厚さにおいて前例のないものとなりました。**50,000**トンという目に見える石の重量は、パリの強風に対抗するための構造的安定性を保証するために不可欠でした。

凱旋門の真の魂は、その表面に刻まれた無数の名前と浮き彫りに宿っています。石には有名な戦いの名前、「オーステルリッツ」や「ワーテルロー」などが記され、フランス軍事史の重要な転換点を物語っています。さらに、第一次世界大戦で命を落とした兵士たちの名前が列記されており、これは特定の個人ではなく、国のために犠牲となったすべての者への敬意を表しています。1920年に安置された無名戦士の墓とその永遠の炎は、この記念碑を勝利の象徴から、平和と追悼の聖域へと昇華させる決定的な要素となりました。

今日、凱旋門はシャルル・ド・ゴール広場を支配する49.54メートルの高さの巨塔として、パリの東西軸線の中心点にあります。ルーヴルのピラミッドから始まり、コンコルドのオベリスクを通り、遠くデファンスのアーチまで続く歴史的な視線の線上に位置することで、それは過去と現在をつなぐ橋渡し役を果たしています。訪れる者は、単に建築物を見るだけでなく、ナポレオンの野望、革命の嵐、そして現代フランスのアイデンティティ形成のプロセスを肌で感じるようになります。この石造りの本を読み解くことで、フランスという国の深層心理に触れることができるのです。

体験

地下通路から地上へ上がる瞬間、圧巻のスケールが視界いっぱいに広がります。12本の大通りが交差する円環の中央に屹立する凱旋門は、周囲の喧騒を一瞬にして静寂に変えます。石の冷たさと重みを感じさせないほど、その存在感は圧倒的で、訪れる者の心を自然と引き寄せます。階段を上るにつれて、壁面に刻まれた浮き彫りの細部が次第に鮮明になり、戦争の激しさと芸術の美しさが混在する独特の雰囲気包まれます。これは単なる移動ではなく、歴史の深淵へと降りていくような精神的な旅なのです。

頂上のテラスに到達すると、パリの全景が黄金色の光の中で開けます。エッフェル塔のきらめき、シャンゼリゼ通りの緑の帯、そして遠くまで広がる都市の格子状の構造。風が吹き抜けるテラスでは、時間の流れが止まったかのような静謐な時間を経験できます。夕暮れ時であれば、街灯が次々と点灯していく様子を眺めながら、首都の息遣いを間近で感じることができます。この高所からの視点こそが、凱旋門を訪れる最大の理由であり、忘れられない感動をもたらすでしょう。



訪問の準備

実用的な情報

住所

シャルル・ド・ゴール広場 ・ メトロ：シャルル・ド・ゴール＝エトワール駅（1号線、2号線、6号線）。歩行者用地下通路への直接出口あり。

営業時間

季節や学校休暇により変動します。夏場は23時まで遅くまで営業しています。訪問前に必ず確認してください。

料金

EU居住者の26歳未満は無料。{promo}。

所要時間

館内博物館の探索、階段の上り、そしてストレスなくパノラマテラスを満喫するには、最低でも1時間30分を確保してください。

写真撮影

テラスを含む記念碑全体で写真撮影は許可されています。作品や他の来場者を尊重し、室内ホールではフラッシュを使用しないでください。

対象客層

家族連れにも適しています（子供は同伴必須）、カップル、グループ向け。注意：アクセスは長い階段または車椅子対応エレベーターのみであり、小さな子供一人で登るには不向きです。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



メトロ / RER

: ワグラム大通り – 1 min à pied

モンパルナス駅 (16 min) ・ ノール駅 (17 min)



バス

: シャルル・ド・ゴール＝エトワール – 3 min à pied

モンパルナス駅 (24 min) ・ ノール駅 (26 min)



自動車

モンパルナス駅 (17 min) ・ ノール駅 (18 min)



ヴェリブ / 自転車

モンパルナス駅 (21 min) ・ ノール駅 (23 min)

LOCALISATION

Où se trouve 凱旋門？



📍 Place Charles de Gaulle — 75008 パリ

🌐 48°52.428' N, 2°17.702' E



組織

訪問の進め方とレイアウト

レベル0（1階）

入口を入るとすぐに小さな博物館スペースがあります。ここでは、凱旋門の建設過程、ナポレオン戦役の軍事史、そして彫刻の意味について解説されています。展示物は簡潔ですが、上部のテラスで見る景色や浮き彫りを理解するための不可欠な文脈を提供します。また、セキュリティチェック後の荷物預けロッカーもこの付近にあります。

階段と内部ホール

螺旋階段または直線階段を使って上っていきます。壁面には、戦争の情景を描いた浮き彫りが施されており、近距離で見るとその細部の精巧さに驚かされます。特に「マルソの戦い」や「レンテンの戦い」などのレリーフは、動的な構図で兵士たちの勇気を表現しています。エレベーター利用の場合は、この部分的をスキップしますが、階段利用は文化的体験を豊かにします。

レベル5（テラス）

頂上のパノラマテラスからは、360度の眺望が楽しめます。南側からはエッフェル塔が、西側からはデファンスのアーチが、東側からはルーヴル美術館が見えます。手すりには、主要な戦いの名前が刻まれており、それぞれの方向にある都市景観と関連付けて鑑賞できます。ここで過ごす時間は、視覚的な驚きと歴史的省察の両方をもたらします。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

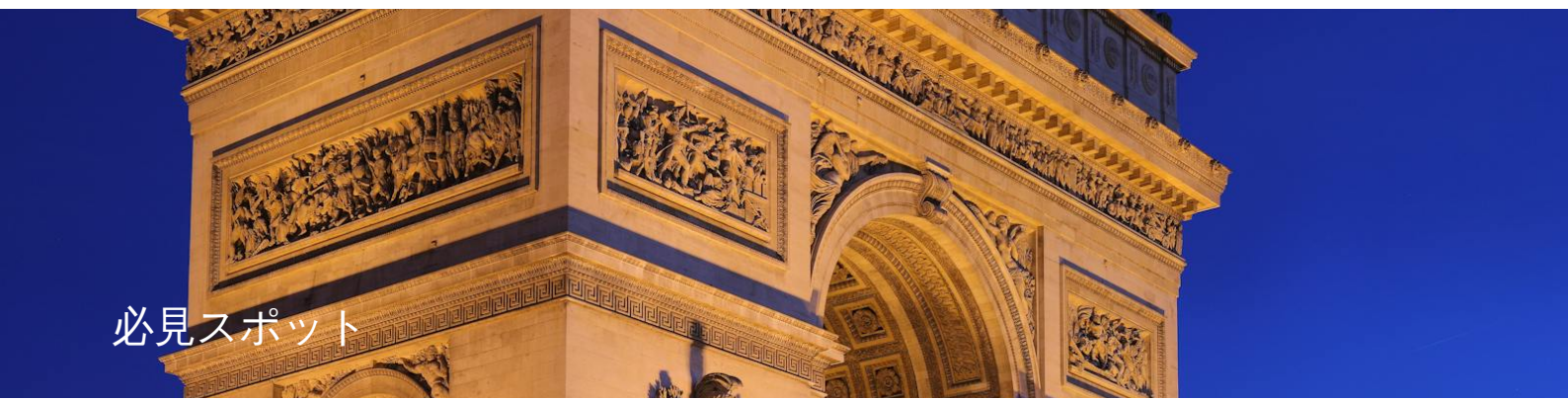
車椅子利用者のための専用エレベーターがあり、テラスへのアクセスが可能です。

ファミリー向け

子供同伴での訪問に適しており、インタラクティブな博物館と、努力に見合う素晴らしい眺望を楽しめます。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

見逃せない歴史的発見

01

アーチ下

無名戦士の墓と永遠の炎

凱旋門の基部にあるこの墓は、第一次世界大戦で亡くなった特定できない兵士たちを象徴しています。毎晩18時30分に行われる点火儀式は、厳粛で感動的です。永遠の炎は、フランス国民の記憶と連帯の象徴として機能しています。

💡 ナポレオンは生前、このアーチの下を通ったことはありませんでした。彼が死去した時点でまだ未完成だったからです。

02

フランソワ・リュージェ 北側外壁

『民の召集』（ラ・ミレディック）

革命の混乱期を背景に、市民が武器を持って戦う様子を描いた力強い浮き彫りです。母親が子供を抱きしめながらも戦場に赴く姿など、感情豊かな描写が特徴です。この作品は、愛国心の激しさを視覚化しています。

💡 このレリーフは、ナポレオンによって直接依頼されたのではなく、共和主義的な精神を反映している点が興味深いです。

03

アンリ・シャブイ 東側内壁

『マルソの戦い』

1796年のイタリア戦役における重要な戦闘を描いています。馬に乗った将軍たちが指揮を執るダイナミックなシーンが刻まれており、ナポレオンの戦略的才覚を示唆しています。石の質感と動きの表現が卓越しています。

💡 この戦いは、フランス軍がオーストリア軍に対して勝利を収めた最初の大きな戦いの一つであり、ナポレオンの名声を高めました。

04

テラス

歴史的軸線の眺望

テラスから東を見ると、ルーヴルのピラミッドからコンコルドのオペリスクを通り、凱旋門を経てデファンスのアーチまで一直線に伸びる軸線を確認できます。これはパリ都市計画の傑作であり、幾何学的調和の美しさを体感できるポイントです。

💡 この軸線は、古代ローマのフォルム・ロマヌムの概念を近代都市に応用したものです。

05

南側バルコニー

エッフェル塔とのフレームショット

南側の手すりを利用すると、視覚的な障害なしでエッフェル塔を完璧にフレームに入れることができます。夕暮れ時の光が塔に当たった瞬間を捉えると、最も印象的な写真が撮れます。パリの二大シンボルを同時に写す絶好のポイントです。

💡 多くの旅行者がこの角度を見落としがちですが、ガイドブックでは推奨されている定番スポットです。

06

内壁

刻まれた558の戦いの名前

アーチの内側には、ナポレオン戦争および他の紛争における重要な戦いの名前が刻まれています。「オーステルリッツ」や「ワーテルロー」などは、フランス軍事史のランドマークとして機能します。これらの文字を追うことで、歴史の物語を再構築できます。

💡 これらの名前は、アルファベット順ではなく、年代順に配置されています。

07

外壁下部

1万3,000名の兵士の名前

第一次世界大戦で亡くなった兵士の名前が列記されています。これは特定の個人への *homenagem* ではなく、集団的な犠牲を記録するためのものです。名前を探す行為自体が、追悼の儀式となります。

💡 一部の家族は、先祖の名前を見つけるために毎年凱旋門を訪れています。

08

テラス

黄昏時の照明移行

日の入り30分前に登ると、黄金色の光から青い空への移行、そして街灯の順次点灯を観察できます。この光の変化は、パリの首都としての魅力を引き立てます。魔法のようなコントラストが生まれる瞬間です。

💡 プロの写真家は、この時間帯を「ブルーアワー」と呼び、最も美しい写真を撮るチャンスとしています。

アドバイス

完璧な訪問のためのヒント

TIMING

日の入り30分前に到着し、夕暮れ時の光と街灯の点灯を観察しましょう。夏場は23時まで営業しており、夜遅くなら混雑を避けて静かに楽しめます。

BILLET

オンライン予約を強く推奨します。特に7月～8月のハイシーズンや週末には必須です。窓口では30～45分の待ち時間を想定してください。EU居住者の26歳未満は無料ですが、予約が必要です。

PARCOURS

まず1階の博物館を見学し、文脈を理解してから階段を上がってください。時間がなければ直線階段を選びますが、ゆっくりするなら螺旋階段で浮き彫りを楽しみましょう。

PHOTO

南側のバルコニーでエッフェル塔を、西側の軸線でデファンスのアーチを含めて撮影してください。フラッシュは室内ホールで使用しないでください。

PAUSE

見学後は、トロカデロまたはシャンゼリゼ通りのカフェで休憩しましょう。視覚的な記憶を定着させ、登りの疲れを回復するのに適しています。

ENFANTS

家族連れにも適していますが、小さな子供一人で階段を登るのは不向きです。同伴必須とし、車椅子対応のエレベーターの利用も検討してください。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語のオーディオガイドが利用可能です。博物館の展示内容を深く理解したい場合はおすすめです。

CONFORT

歩きやすい靴を履いてください。階段の上りは体力を消耗します。大型バッグは禁止されており、軽量バックパックのみ許可されています。



よくある質問

よくある質問

チケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、オンライン予約は強く推奨されます。特にハイシーズン（7月～8月）や週末には必須です。窓口での長い待ち時間を避け、入場を保証します。休暇期間外の平日であれば窓口を試すこともできますが、平均して30～45分の待ち時間を見込んでください。

若年層のヨーロッパ人にとってチケットは無料ですか？

はい、26歳未満のEU居住者は入場無料です。年齢と居住地を証明する有効な身分証明書をご提示ください。この特典はガイド付きツアーにも適用されますが、時間帯を確保するため予約は必須です。

ガイド付きツアーはありますか？

いくつかのオプションがあります：自由見学、係員による解説付き見学（チケット購入者なら無料、毎日10:15、11:15、15:15）、またはオンラインで予約可能なプライベート講義です。講義は約1時間30分続き、記念碑の軍事史および建築史への深い没入体験を提供します。

キャンセル可能なのはいつまでですか？

キャンセル条件は購入したチケットの種類によって異なります。標準チケットの場合、通常は訪問日の24時間前までキャンセル可能です。オンライン購入時に必ず特定の規定をご確認ください。天候による臨時閉鎖の場合は、通常全額返金が提供されます。

完全な見学にはどのくらい時間がかかりますか？

屋内博物館、階段またはエレベーターでの昇降、そしてパノラマテラスでの滞在を含む完全な見学には、約1時間30分を見込んでください。ガイド付き講義に参加する場合は、さらに1時間30分を追加してください。急がずに彫刻のレリーフを鑑賞するために十分な時間を取ってください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

失敗した初期の場所

ナポレオンは当初、ルーヴルへの視界を作るため、バステューユの近くに建てることを計画していました。しかし、土地収用のコストが高すぎるため、エトワール広場に変更されました。この変更が、今日の歴史的軸線を生み出す要因となりました。

30年間の建設遅延

1806年に発注されたものの、ナポレオン戦争と復古王政による中断により、1836年まで完成しませんでした。皇帝自身は生前、アーチの下を通ることができませんでした。この遅れは、フランスの政治的不安定さを反映しています。

巨大な重量と基礎

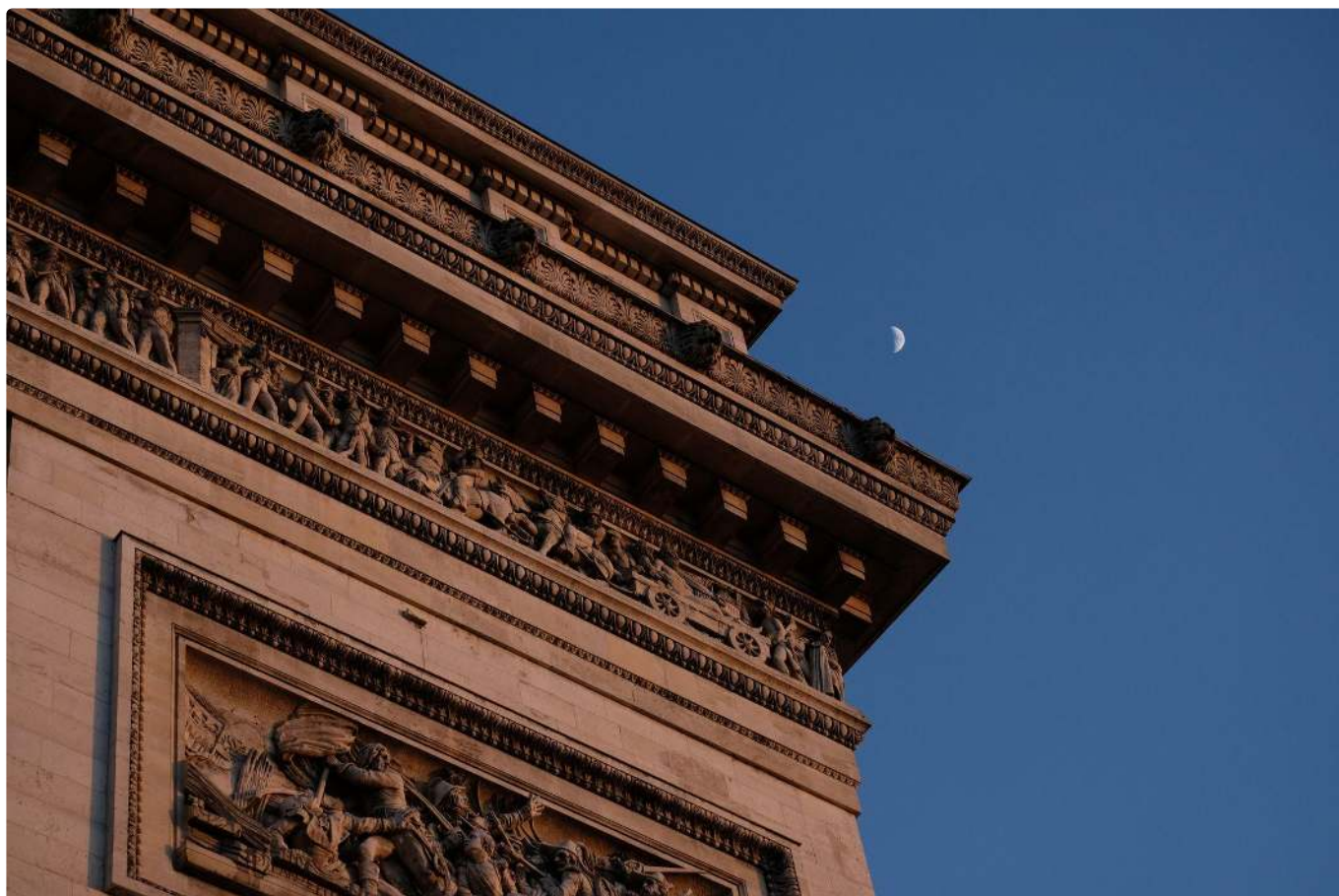
目に見える石だけで約50,000トンですが、地下8.37メートルまで突き刺さる基礎を含めると総重量は100,000トンに達します。この重さは、パリの強風に対する構造的安定性を保証するために不可欠でした。

正確な高さ

凱旋門の総高さは49.54メートルです。これは、シャルル・ド・ゴール広場を支配するだけでなく、ルーヴルからデファンスまでの軸線上で視覚的なバランスを取るために計算された寸法です。

博物館周辺

凱旋門周辺は、パリの文化的・商業的中心地が集結するエリアです。訪問後、まずはトロカデロ庭園へ向かいましょう。エッフェル塔に面したこの広場からは、凱旋門とは異なる角度から塔の美しさを楽しむことができ、ピクニックや写真撮影に最適です。その後、シャンゼリゼ通りを歩きながら、ギャラリー・ラファイエット・オスマンの壮大なガラスドームを見学したり、高級ショッピングを楽しんだりできます。さらに東へ進むと、ガニエ宮前のカフェ・ド・ラ・パクスで紅茶を飲みながら、オペラ座の活気を観察することも可能です。これらのスポットは、凱旋門の歴史的な重みを現代的なパリの楽しさとバランスよく組み合わせるための理想的な休憩地点です。



凱旋門は、石と鉄の都パリにおいて、最も情熱的な物語を語る場所です。ここから見る景色は、単なる観光地の風景ではなく、数世紀にわたる人々の希望、苦闘、そして団結の証です。一度登れば、その記憶はあなたの一部となり、フランスという国の真の姿を理解する鍵となります。ぜひ、この歴史的な高みを体験してください。